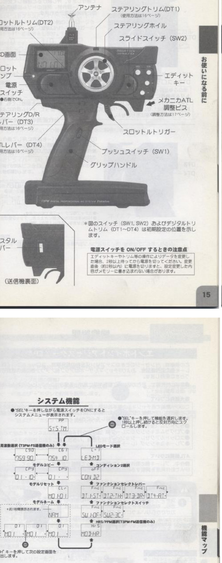
Futaba MAGNUM 3PM Manual

送信機の取扱い方

送信機各部の名称

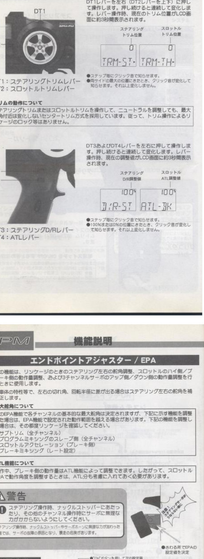


●3個のスイッチ (SW1, SW2) およびデジタルトリム (DT1～DT4) は初期設定の位置を示します。

電源スイッチを ON/OFF するときの注意点

電源スイッチを ON/OFF するときは、スロットルスティックを必ずニュートラル、2段以上押さずに電源をONまたはOFFにしてください。送信機のスロットルスティックが2段以上押されていると、設定メニューに進んだ状態のままになります。

デジタルトリムの操作方法



DT1：ステアリングトリムレバー
DT2：スロットルトリムレバー

DT1/DT2トリムを左右（DT3/DT4レバーを上下）に押し続けると、押し続けた位置に応じて、トリム操作による設定値の変化速度が速くなります。

トリムの微作について

ステアリングトリム量およびスロットルトリムを操作して、ニュートラルを調整しても、最大舵角付近ではないなどトリムの微作が必要な場合があります。そのようなときは、トリム操作によりステアリングやスロットルの中間点を調整することができます。

DT3およびDT4にレバーを左右に押して操作します。押し続けると連続して変化します。レバー操作時、現在の調整値が表示されます。

DT3：ステアリングD/Rレバー
DT4：ATLレバー

メカニカルATLの調整方法

操作ウイングと「スロットルトリガーのブレーキ（バック）側のストロークを抑くします。

調整方法

調整ビスをプラスドライバーで回して、トリガーのブレーキ（バック）側のストロークを抑くします。スロットルトリガーのストロークへ影響します。

●操作時に指がスロットルトリガーに当たります。ビスを当たらないように調整してください。

注意事項

調整ビスを締めすぎると、トリガーの動きが悪くなります。

ホイルテンションの調整方法

ステアリングホイルの手の強さを変えたいときに調整します。

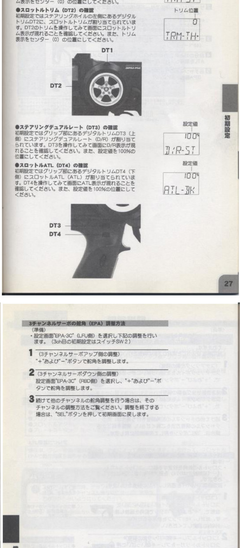
調整方法

ホイルテンション調整ビスをプラスドライバーで回すと、締めた方向に強くなります。

注意事項

ビスを締めすぎると、ビスが当たる場合があります。

ステアリングトリム、スロットルトリムの初期設定



●ステアリングトリム (DT1) の機能

初期設定ではステアリングホイルを操作に応じたデジタルトリムが（ニュートラル）の量だけ変化されます。DT1/DT2スイッチを操作すると、ステアリングトリム表示が現在と機能してください。また、トリム操作をセンター (0) の位置にしてください。

●スロットルトリム (DT2) の機能

初期設定ではスロットルトリガーに応じたデジタルトリムが（0）、スロットルトリムが現在と変化されています。DT2のトリムを操作してみて画面にスロットルトリム表示が現在と変化されていることを確認してください。トリム操作をセンター (0) の位置にしてください。

●ステアリングデュアルレート (DT3) の機能

初期設定ではステアリングデュアルレート (D/R) が割り当てられています。DT3を操作してみて画面にD/R表示が現在と変化されていることを確認してください。また、設定値を100%の位置にしてください。

●スロットルATL (DT4) の機能

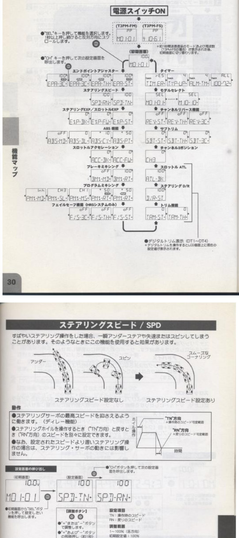
初期設定ではスロットルATLが割り当てられています。DT4を操作してみて画面にATL表示が現在と変化されていることを確認してください。また、設定値を100%の位置にしてください。

機能マップ

機能の選択方法

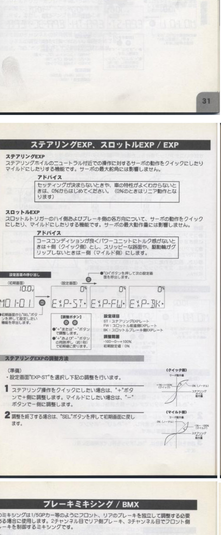
3PM送信機の機能設定画面には基本メニュー画面と一部設定すると表示し設定しない機能（シンプルメニュー）がございます。これらの詳細は、それぞれの説明にてご参照ください。

電源スイッチON



システム機能

●初回1回のみ表示し設定後は表示されません。



機能説明

エンドポイントアジャスター / EPA

この機能は、リンケージ止めのステアリングなどの初期調整、コントロールのバイブレーター幅の動作量調整、およびオートシステムやプロポ内ノズン側の動作量調整を行うときに使用します。

●初めに使用するものの中央、初期半面に並び出る場合はステアリングなどの初期作を確認してください。

各充電について

このEPA機能でステアリングの最初初期入動作は変化されます。下記に示す機能を調整した場合は、EPA機能で設定された動作範囲を超えて動作します。下記の機能を調整した場合は、その範囲リンケージを調整してください。

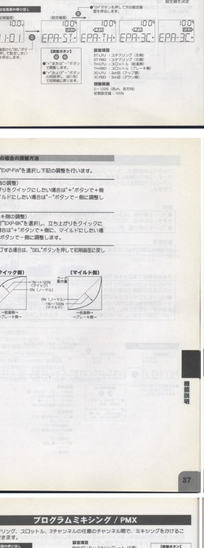
- アクティル（左ステアリング）
- プログラムミキシングのスレーブ側（ミキサーマス）
- ジャイロ（アクセレーション）（ブレーキ側）
- ブレーキミキシング（レート設定）

ATL機能について

操作をしてATL機能の動作量はATL機能によって調整できます。しかがって、コントロールがATL動作角度を調整することは、ATLが生き遠されたのに必要があります。

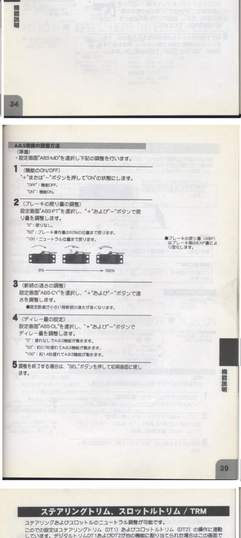
⚠警告

❶ ステアリング操作時、ラッタルストッパーにあたる前に、モーターの回転がストップすることを確認してください。



ステアリングの舵角（EPA）調整方法

（準備）
・ステアリングの舵角を設定する前に、ステアリングD/Rレバー（初期設定値は100%）を最大角度に100%に設定しておきます。
・設定画面"EPA-ST"を表示します。



1 「ステアリングの右に調整」
ステアリングホイルを右側いっぱいにおさえ込む。
→"+"あるいは"-"ボタンで舵角を調整します。

2 「ステアリングの右に調整」
ステアリングホイルを右側いっぱいにおさえ込む。
→"+"あるいは"-"ボタンで舵角を調整します。

3 終了で右のチャンネルの舵角調整を行う場合は、その左チャンネルの調整方法をご覧ください。調整を終了する場合は、"SEL"ボタンを押して初期画面に戻ります。

スロットルの舵角（EPA）調整方法

（準備）
・スロットルの舵角を設定する前に、コントロールATLレバー（初期設定は0%）を最大舵角に100%に設定しておきます。
・設定画面"EPA-TH"を表示します。

1 「スロットル前進側の調整」
スロットルトリガーをバイ側いっぱいにおさえ込む。
→"+"あるいは"-"ボタンで舵角を調整します。
ただし、REFファンクションを使用するときは100%に設定してください。

2 「スロットルブレーキ側バック側の調整」
スロットルトリガーをブレーキ側いっぱいに戻しただけまで、→"+"あるいは"-"ボタンで舵角を調整します。ただし、REFファンクションを使用するときは100%に設定してください。

3 終了で右のチャンネルの舵角調整を行う場合は、その左チャンネルの調整方法をご覧ください。調整を終了する場合は、"SEL"ボタンを押して初期画面に戻ります。

ステアリングの舵角（EPA）調整方法

（準備）
・ステアリングの舵角を設定する前に、コントロールのD/Rレバー（初期設定値は100%）を最大角度に100%に設定しておきます。
・設定画面"EPA-ST"を表示します。

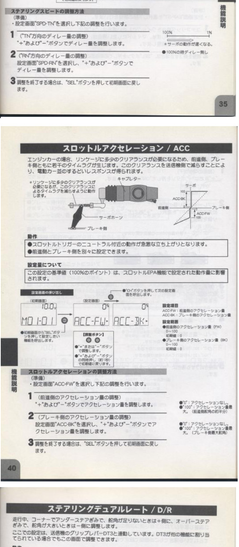
1 「ステアリングの右に調整」
ステアリングホイルを右側いっぱいにおさえ込む。
→"+"あるいは"-"ボタンで舵角を調整します。

2 「ステアリングの右に調整」
ステアリングホイルを右側いっぱいにおさえ込む。
→"+"あるいは"-"ボタンで舵角を調整します。

3 終了で右のチャンネルの舵角調整を行う場合は、その左チャンネルの調整方法をご覧ください。調整を終了する場合は、"SEL"ボタンを押して初期画面に戻ります。

ステアリングスピード / SPD

ぎぼやいステアリング操作をした場合、一般アンプオーステアや先進走は出ようしてしまうことがあります。そのようなときにの機能を使用すると効果があります。



動作

●ステアリングスピード調整ホイールを回すと効果があります。（ダイレクト機能）
●ステアリングホイルを操作すると、TH"方向（左ずと）、PN"方向（右ずと）を設定できます。
●ATL、設定されたコントロール量のステアリング操作位置は、ステアリング・サーボの動きには影響しません。

ステアリングスピードの設定方法

（準備）
・設定画面"SPD-TH"を表示します。

1 「TH"方向のディレー量の調整」
→"+"あるいは"-"ボタンでディレー量を調整します。

2 「PN"方向のディレー量の調整」
設定画面"SPD-PN"を表示し、→"+"あるいは"-"ボタンでディレー量を調整します。

3 調整を終了する場合は、"SEL"ボタンを押して初期画面に戻ります。

ステアリングEXP、スロットルEXP / EXP

ステアリングEXP

ステアリングホイルのニュートラル付近での操作に対するサーボの動きをクイックにしたりマイルドにしたりする機能です。サーボの最大動作には影響しません。

アドバイス

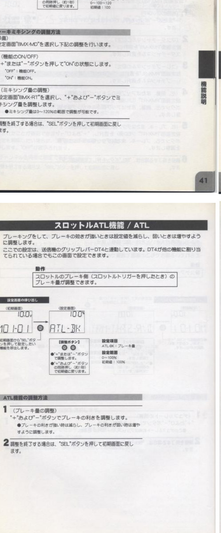
ステアリングが過敏ないにまた、敏感機能がよくわからないときは、ONのほうに設定してください。ONにさせばニュアル動作となります。

スロットルEXP

スロットルトリガーの小さい動きおよびスロットル量の左右において、サーボの動作をクイックにしたり、マイルドにしたりする機能です。サーボの最大動作量には影響しません。

アドバイス

ブレーキングパワー調整（ブレーキ）やパワーユニットにトルクが発生しないようなときは、ONにしてください。ONにさせば一般的な、最高機能がブレーキ（ブレーキ）機能になります。



ステアリングEXPの設定方法

（準備）
・設定画面"EXP-ST"を選択します。

1 ステアリング操作をクイックにしたい場合は、"+"ボタンで右に調整します。マイルドにしたい場合は、"-"ボタンで一段に調整します。

2 調整を終了する場合は、"SEL"ボタンを押して初期画面に戻ります。

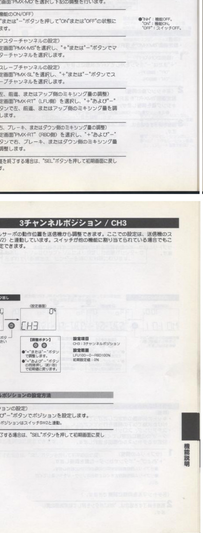
EXPカーブの補正の調整方法

（準備）
・設定画面"EXP-PN"を選択し下記の調整を行います。

1 「左右操作の調整」
ニュートラル付近でクイックにしたい場合は"+"ボタンで+側に、マイルドにしたい場合は"-"ボタンで一段に調整します。

2 「ブレーキ側の調整」
設定画面"EXP-BK"を選択し、ニュートラル付近でクイックにしたい場合は"+"ボタンで+側に、マイルドにしたい場合は"-"ボタンで一段に調整します。

3 調整を終了する場合は、"SEL"ボタンを押して初期画面に戻ります。



A.B.S機能 / ABS

フルタイム4WD車で、コーナリング中にブレーキをかけると、アンダーステアが発生しますが、この機能を使うことにより、アンダーステアが発生しにくくなり、スムーズにコーナーをクリアできます。

動作

●ブレーキ操作時、コントロールサーボを前後に2ブレーキ動作させます。（ABS_アンビバブル）
●ブレーキの切り量、ディレー量、前後の進みを設定できます。

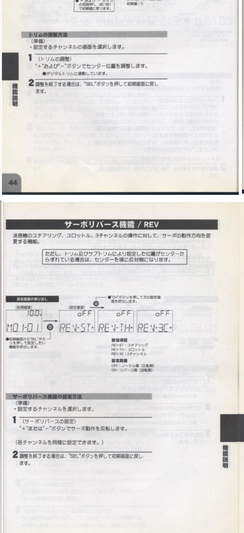
動作表示

ABS機能が動作中はLEDが点滅して表示します。

フェイルセーフ二ユニットについて

PRMシステムでFutabaフェイルセーフユニット（FSU）を併用した場合、次のような動作となりますので安心してご使用ください。

●万一スロットルチャンネルに接続してある場合、ABS機能のブレーキ動作はおこなわず、ブレーキはノーマルの状態にします。これはABS機能のセンシング動作による急激なデータ変化に対し、FSUが反応していためです。フェイルセーフ機能が働いているだけのあります。サーボの動作には影響ありません。そのまま正常にお使いください。

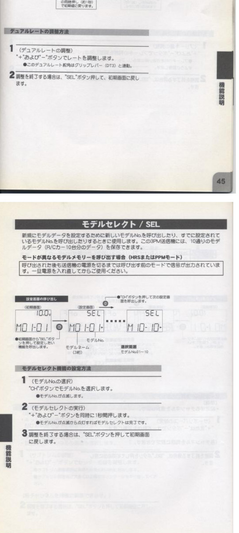


A.B.S機能の調整方法

（準備）
・設定画面"ABS-MD"を選択し下記の調整を行います。

1 「機能のON/OFF」
→"ボタン"ボタンを押して"ON"の状態にします。
"OFF"：機能OFF。
"ON"：機能ON。

2 「ブレーキ切り量の調整」
設定画面"ABS-PT"を表示して、→"+"あるいは"-"ボタンで調整します。
"0"：ブレーキ切り量0%（ABS機能OFF）
"100"：ニュートラル位置まで切り量。



3 「前後の進みの調整」
設定画面"ABS-CY"を表示して、→"+"あるいは"-"ボタンで前後の進みを調整します。
●前後調整の詳細については、ABS_アンビバブルの説明書をご覧ください。

4 「ディレー量の設定」
設定画面"ABS-DL"を選択し、→"+"あるいは"-"ボタンでディレー量を調整します。
"0"：遅れなしの入力機能です。
"5"：約0.15秒遅れてABS機能が働きます。
"100"：約1.4秒遅れてABS機能が働きます。

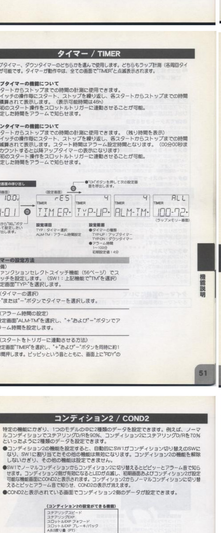
5 調整を終了する場合は、"SEL"ボタンを押して初期画面に戻ります。

ブレーキミキシング / BMX

このミキシングは（RSPカー等）前のようにフロントと、リアのブレーキを独立して調整する必要がある場合に使用します。ステアリング以外リンク機構と、ステアリング以外でフロントに操作をお届けするミキシングです。

動作

●ブレーキ操作時、ステアリングへステアリングにミキシングがかかります。
●ミキシングレートの設定ができます。
●AUX2機能が連動します。



ブレーキミキシングの調整方法

（準備）
・設定画面"MIX-MD"を選択し下記の調整を行います。

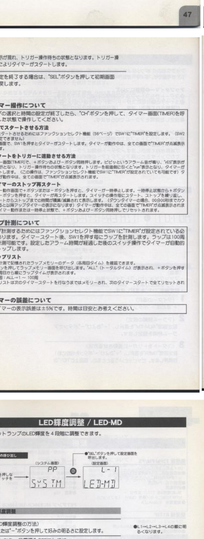
1 「機能のON/OFF」
→"+"あるいは"-"ボタンを押して"ON"の状態にします。
"OFF"：機能OFF。
"ON"：機能ON。

2 「ミキシング量の調整」
設定画面"MIX-RT"を選択し、→"+"あるいは"-"ボタンでミキシング量を調整します。
●ミキシング量は0～100%の範囲で調整が可能です。

3 調整を終了する場合は、"SEL"ボタンを押して初期画面に戻ります。

プログラムミキシング / PMX

ステアリング、スロットル、3チャンネルの任意のチャンネル間で、ミキシングをかけることができます。



プログラムミキシングの設定方法

（準備）
・スイッチでON/OFFする場合は、ファンクションセレクト・スイッチ機能（SW.1～2）でスイッチを設定します。
・設定画面"PMX-MD"を選択し下記の調整を行います。

1 「機能のON/OFF」
→"+"あるいは"-"ボタンを押して"ON"または"OFF"の状態にします。

2 「マスターチャンネルの設定」
設定画面"PMX-MS"を選択し、→"+"または"-"ボタンでマスターチャンネルを選択します。

3 「スレーブチャンネルの設定」
設定画面"PMX-SL"を選択し、→"+"または"-"ボタンでスレーブチャンネルを選択します。

4 「左、前進、またはプラス側のミキシング量の調整」
設定画面"PMX-RT"（LR）を選択し、→"+"あるいは"-"ボタンで、前進、またはプラス側のミキシング量を調整します。

5 「右、ブレーキ、またはマイナス側のミキシング量の調整」
設定画面"PMX-MD"（LR）を選択し、→"+"あるいは"-"ボタンで、右、ブレーキ、またはマイナス側のミキシング量を調整します。

6 調整を終了する場合は、"SEL"ボタンを押して初期画面に戻ります。

フェイルセーフ機能 / F/S

（この機能はFHSS方式の受信機のみ利用できます。）

フェイルセーフ機能

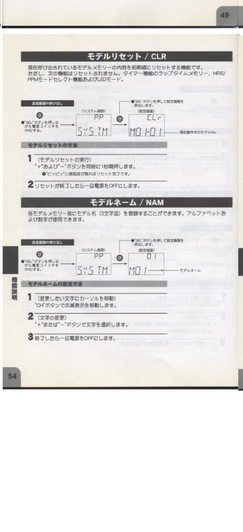
受信機がなんらかの原因で、送信機からの信号を受信できなくなった場合に、ステアリングやスロットルなどのプログラムを一定の位置に動作させるために設定しておく機能です。ラジオ取り付け直後は設定していない場合は、受信できなくなる直前の位置を自動的に記憶します。（初期設定）

●エンジンカー使用、安全第一の、スロットルチャンネルに設定することをお勧めします。

●フェイルセーフデータ、送信機の電源を入れたときに、送信機からの信号個々に異なるので、その後も信号を受信できなくなった場合、受信機の電源を入れ直しても、送信機の電源を入れ直しても、フェイルセーフ機能は自動的に復帰します。

バッテリーフェイルセーフ機能

受信機のバッテリー電圧が一定電圧以下になった場合に、コントロールサーボが、フェイルセーフ機能で設定した位置に動作します。詳細、電圧の設定などについてはフェイルセーフ機能は自動的に復帰します。



フェイルセーフ機能の設定方法

（準備）
・設定するチャンネルの画面を選択します。

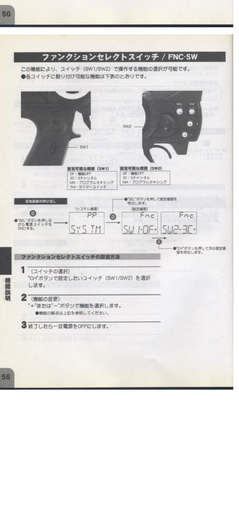
1 「サーボポジションの設定」
ステアリングチャンネル、スロットルサーボ、またはスロットルチャンネルを除くすべての機能で使用いただきます。
"ホールド"機能：サーボがホールドする直前の位置に動作します。
"ポジション"機能：サーボがポジションを設定した位置に動作します。
"OFF"：信号が出ません。
（各チャンネルを同様に設定できます。）

2 調整を終了する場合は、"SEL"ボタンを押して初期画面に戻ります。

ステアリングトリム、スロットルトリム / TRM

ステアリングおよびスロットルのニュートラル調整が可能です。

このの設定はステアリングトリム（DT1）およびスロットルトリム（DT2）の操作に連動しています。デジタルトリムのON/OFF切り換機能に関与はできませんのご注意ください。DT1/DT2の機能に関わり当てられた場合はこの設定でトリム調整が可能です。



トリムの調整方法

（準備）
・設定するチャンネルの画面を選択します。

1 「トリムの調整」
→"あるが"ボタンでセンター位置を調整します。

2 調整を終了する場合は、"SEL"ボタンを押して初期画面に戻ります。

ステアリングデュアルレート / D/R

設行中、コーナーでアンダーステアぎみで、起転が足りないときは一段に、オーバーステアぎみで、転転されたいときは一段に調整します。この2点調整は、1段ごとの設定です。

動作

●ステアリングサーボの左右の動作が同時に調整されます。

デュアルレートの調整方法

1 「デュアルレートの調整」
→"+"あるいは"-"ボタンでレートを調整します。
●ステアリングチャンネル動作はプリンプルレート（D/R）と連動。

2 調整を終了する場合は、"SEL"ボタンを押して初期画面に戻ります。

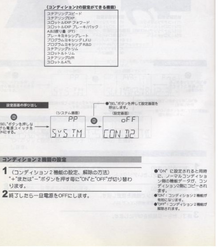
スロットルATL機能 / ATL

ブレーキングをして、ブレーキの効きが強いまたは反応速度を速らし、強いときは遅サーボまで調整します。

ここでの設定は、送信機のプリンプルレート（D/R）と連動しています。D/R1の時の機能に影響うけられている場合でもこの画面で設定できます。

動作

コントロールのブレーキ側（コントロトリガーを押したとき）の
●ブレーキ量が調整できます。



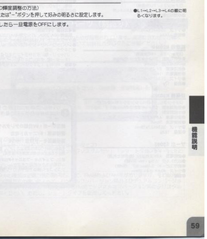
ATL舵角の調整方法

1 「ブレーキ量の調整」
→"+"あるいは"-"ボタンでブレーキの利きを調整します。
●ブレーキの利きが強い時は+側に、ブレーキの利きが弱い時は-側にすることに調整します。

2 調整を終了する場合は、"SEL"ボタンを押して初期画面に戻ります。

3チャンネルポジション / CH3

3チャンネルサーボの動作位置を送信機から調整できます。ここでの設定は、送信機のエンドポイント（EPA）と連動しています。スイッチの切り換機能に影響うけられている場合でもこの画面で設定できます。



3チャンネルポジションの設定方法

1 「ポジションの設定」
→"+"あるいは"-"ボタンでポジションを設定します。
●3チャンネルポジションが可能です。

2 調整を終了する場合は、"SEL"ボタンを押して初期画面に戻ります。

サブトリム / SBT

リンケージ止め部にコナテンツ、コントロトル、3チャンネルの各サーボのセンター位置を微調整する場合に使用します。

サブトリムは4サーボの範囲内で全体の設定のために行わる場合に使用します。

サブトリムの調整方法

（準備）
・キットの説明書の指定にしたがってサーボホーンを取り付けていることを確認してください。
・ステアリング、コントロールの各アクリトリムをセンター位置にしておきます。
・設定するチャンネルの画面を選択します。

1 「サブトリムの調整」
→"+"あるが"-"ボタンでセンター位置を調整します。
●アクリル調整画面が表示されるのでご注意ください。
●アクリル調整値が大きくなる場合はリンケージをやり直してください。

（各チャンネルを同様に調整できます。）

2 調整を終了する場合は、"SEL"ボタンを押して初期画面に戻ります。

サーボリバース / REV

送信機のステアリング、コントロト、3チャンネルの操作に対して、サーボの動作方向を変更できます。

おおしゃトリムロイヤプトリムにより設定した位置はプログラムを行いる場合は、センターを基に反対側になります。

サーボリバース設定の設定方法

（準備）
・設定するチャンネルを選択します。

1 「サーボリバースの設定」
→"+"あるが"-"ボタンでサーボの動作方向を反転します。

（各チャンネルを同様に設定できます。）

2 調整を終了する場合は、"SEL"ボタンを押して初期画面に戻ります。

モデルセレクト / SEL

新規にモデルデータを設定するためにお使いいただくか、モデルデータを呼び出したり、すでに設定されているモデルデータを変更したいときに使用します。この3つの設定機能は、1つ選ぶのモデルデータ（M01～10）1台のサーボ）を保存できます。

モード名称はセレクタモデル名称（M01または10）

初行はおけ合せる送信機の電源をはさまずは行ばする前のモードで信号は出ておりません。一旦電源を入れ直してから使用ください。

モデルセレクト設定の設定方法

1 「モデルNoの選択」
"ロボ"ボタンでモデルNoを選択します。
●マクアルNo.01～10。

2 「モデルセレクトの実行」
→"+"あるが"-"ボタンを同時に1秒間押します。
●マクアルNo.01～10のデータが1セットロードされます。

3 調整を終了する場合は、"SEL"ボタンを押して初期画面に戻ります。

タイマー / TIMER

アップタイマー、ダウンタイマーのどちらを使えて使用します。どちらもプラン対応（各種別タイムの可能です。タイマー（電圧作成、全ての画面で"TIMER"と画面表示されます。

アップタイマーの機能について

●スタートのタイミングは下記の3種類から選択できます。
●スイッチの操作毎にスタート、ストップを繰り返し、各スタートからストップまでの時間（7種類あります）を表示します。（表示可能時間は99）
●最初のスタート操作をスロットルトリガーに連動させることができ可能。
●設定した時間をアラームで知らせることができます。

ダウンタイマーの機能について

●スタートのタイミングは下記の3種類から選択できます。（残り時間を表示）
●スイッチの操作毎にスタート、ストップを繰り返し、各スタートからストップまでの時間（7種類あります）を表示します。スタート時間は、1分00秒設定できます。00:00が設定すると以降アップタイマーの表示になります。
●最初のスタート操作をスロットルトリガーに連動させることができ可能。
●設定した時間をアラームで知らせます。

タイマーの設定方法

（準備）
・ファンクションセレクトスイイッチ機能（SW.1～2）でスイッチを設定します。（SW.1：上記機能で"TM"を選択）
・設定画面"TYP"を選択します。

1 「タイマーの選択」
→"+"あるいは"-"ボタンでタイマーを選択します。

2 「アラーム時間の設定」
設定画面"ALM-TH"を選択し、→"+"あるが"-"ボタンでアラーム時間を設定します。

3 「スタートトリガーに連動させる方法」
設定画面"TMR"を選択し、→"+"あるが"-"ボタンを同時に1秒間押します。どちらかいうとたくに、画面上で"ロウ"

表示が変わり、トリガー操作時毎に変化となります。トリガー操作にはタイマーがスタートします。

4 設定を終了する場合は、"SEL"ボタンを押して初期画面に戻ります。

タイマー一括作について

タイマの選択と時間の設定が終了したら、"ロボ"ボタンを押して、タイマー画面"TIMER"の表示がはじ、次の設定が表示してください。

●SWでスタートさせる方法

スイッチ機能（SW.1～2）でファンクションセレクト機能（SW.1～2）でSW"に"TIMER"を設定し、（SW2）にはSW.2を設定します。タイマーが動作中は、SW.2を操作するとタイマーがスタートします。タイマーが動作中は、SW.2を操作するとタイマーがストップします。

●スタートをトリガーに連動させる方法

タイマー動作中はスロットルトリガーを操作すると、タイマーがスタートします。どちらかいうとタイマーがスタートします。タイマーが動作中は、スロットルトリガーを操作するとタイマーがストップします。

●タイマーのストップ及びスタート

タイマー動作中はスロットルトリガーを操作すると、タイマーがスタートします。（時間と連動のトリガーがスタートします。タイマーが動作中は、スロットルトリガーを操作するとタイマーがストップします。

タイマーを設定した場合、スロットルトリガーを操作するとタイマーがスタートします。タイマーが動作中は、スロットルトリガーを操作するとタイマーがストップします。

ラップ計測について

ラップ計測を設定するためにファンクションセレクト機能でSW.1で"TIMER"設定されている場合、SW.2を操作するとラップ計測します。ラップは100個までラップ計測します。最大ラップ時間は99分59秒59です。ラップ操作でタイマーが2回動作にストップします。

●ラップリスト

ラップ計測で"TIMER"設定されている場合、SW.2を操作するとラップ計測します。

タイマーの設定について

各タイマーの設定値は0.5Hzです。時間は1分ごと作成ください。

周波数選択（T3PM-FS送信機の場合）

この機能は、T3PM-FS送信機（FHSシステムセイサーシステム）の場合にのみ表示されます。下記の方法で機種に送信機周波数を選択することができます。

1 「CH1ダンジャナンスAHz（周波数）を選択します。

2 選択終了したら一旦電源を切OFFにします。

周波数の変更

1 「CH1ダンジャナンスAHz（周波数）を選択します。

2 選択終了したら一旦電源を切OFFにします。

モデルコピー / CPY

現在何行なおされているモデルセレクトの内容を別のモデルセレクトにコピーできます。

モデルコピーの方法

1 「コピー先モデルNoの選択」
"ロボ"ボタンでモデルNoを選択します。

2 「コピーの実行」
→"+"あるが"-"ボタンを同時に1秒間押します。
●マクアルNo.01～10のデータがコピーされます。

3 コピー終了したら、一旦電源を切OFFにします。

モデルリセット / CLR

現在何行なおされているモデルセレクトの内容を初期にリセットする機能です。

ただし、次の機能はリセットされません。タイマー機能のアップタイムメモリー、HRS/PRMモードセレクト機能およびLEDモード。

モデルリセットの方法

1 「モデルセレクトの実行」
→"+"あるが"-"ボタンを同時に1秒間押します。
●マクアルNo.01～10のデータが1セットロードされます。

2 リセットが終了したら一旦電源を切OFFにします。

モデルネーム / NAM

各モデルメモリー前にモデル（3文字迄）を登録することができます。アルファベットおよび数字が使用できます。

モデルネームの設定方法

1 「変更したい文字にカーソルを移動」
"ロボ"ボタンの左右で変更したい文字にカーソルを移動します。

2 「文字の変更」
→"+"あるが"-"ボタンで文字を選択します。

3 終了したら一旦電源を切OFFにします。

ファンクションセレクトスイッチ / FNC·SW

この機能により、スイッチ（SW.1/SW.2）で操作する機能の選択が可能です。
●スイッチご割り付け可能な機能は下表のとおりです。

ファンクションセレクトスイッチの設定方法

1 「スイッチの選択」
"ロボ"ボタンで設定したいスイッチ（SW.1/SW.2）を選択します。

2 「機能の設定」
→"+"あるが"-"ボタンで機能を選択します。
●機能は表示および表示順にて、以下のとおりです。

3 終了したら一旦電源を切OFFにします。

コンディション2 / COND2

特定の機能にのみ、1つのモデルのなかで複数のデータを設定できます。例えば、ノーマルとハイレートの2種類のデータを設定したい、コンディションにスタンプ1のみ10%というような2種類のデータを設定できます。

●コンディション2の機能を設定すると、初期状態のH（ファンクション切り換えのON/OFFなし）SW.1の状態でまたの状態の機能になります。コンディション2の機能を登録しないばすし、その他の機能は設定できません。
●SW.1でノーマルアダプティブ（ファンクションセレクト）を設定するとピッチ＆ブースターを設定します。コンディション2側で初期でなるとLEDの点滅、初期画面およびコンディション2が設定可能な状態の機能画面にSW.2に表示されます。コンディション2のカレーやスコンディションに切り換えるとピッチ＆ブースターも切り、COND.2の表示が消えます。
●COND.2に表示されている画面でコンディション側のデータ設定ができます。

コンディション2画面の設定

1 「コンディション2 機能の設定、解除の方法」
→"あるが"ボタンを押す毎に"ON"と"OFF"が切り替りします。

2 終了したら一旦電源を切OFFにします。

●"ON"に設定されると初期画面にSW.2を設定したコンディション2機能画面が表示されます。
●"OFF"に設定されるとコンディション2機能画面は表示されません。

LED輝度調整 / LED·MD

バイロットランプのLED輝度を4段階に調整できます。

LEDの輝度調整

1 「LED輝度調整の方法」
→"あるが"ボタンを押して5Hzの明るさに設定します。

2 終了したら一旦電源を切OFFにします。

●ライトは→0→1→2→3の順に明るくなります。